

一般質問

11月27日
11月28日
本会議

◆質問と答弁は要旨を掲載しています。
◆一般質問の全文(会議録)は、2月下旬にホームページに掲載します。
◆スマートフォンなどで2次元コードを読み取ると、各議員が一般質問をしている動画にアクセスできます。



一島ひろし

(自民党)



子ども議会について問う

【質 問】子どもの意見を区政に反映させるため、中学校の生徒会と区長や教育長を含めた理事者が意見交換をする子ども議会を設置すべき。

【区 長】 試行実施した子どもワークショップなど、区政課題への学びや意見交換の機会を提供している。こうした取り組みの充実を図りつつ、子どもの声を聴く仕組みづくりに向けて検討を継続していく。

学力支援について問う

【質 問】教職員の確保のため、大学で教職課程を履修している学生をインターンとして受け入れてはどうか。

【教育長】区独自の教員を採用することは難しいが、小中学校での実習を単位として認めている大学もあり、さらなる連携強化に取り組んでいく。

【質 問】貴重な文化財を将来につなげるため、児童・生徒に対し、文化財に触れる機会を設けるべき。

【教育長】学校教育では、無形文化財を鑑賞できる出前事



板橋区指定無形民俗文化財「赤塚諏訪神社獅子舞」

業を実施している。今後は、鑑賞を中心としたものから、子どもたちが直接体験できる学習に移行し、より身近なものとしていく。

【質 問】伝統工芸の周知のため、子どもたちが積極的に体験できる機会を拡充すべき。

【教育長】 今後は、ワークショップの機会を拡充するとともに、新たな実施場所を検討するなど、体験型の拡充をめざしていく。

地域への取り組みについて問う

【質 問】猫の不妊・去勢手術の助成額について、他区と比べて少なすぎるのは問題である。助成額を増額すべき。



横川たかゆき

(自民党)



板橋区地域保健福祉計画について問う

【質 問】実施計画2025の進捗と成果について伺う。

【区 長】 全事業において、順調に進捗している。また、生活に関わる相談窓口の全福祉課への拡充や地域福祉コーディネーターのモデル配置を実施し、包括的な相談支援体制の構築に成果をあげている。

【質 問】法定計画である本計画は、住民参加が大事であると考えているが、区はどのように考えているのか。

【区 長】 地域活動や事業に参加するだけでなく、地域で課題を抱えている方の見守りや支援のネットワークに参加してもらい、住民参加と

【質 問】本計画にある地域課題の解決には、地域コミュニティづくりが重要である。

【区 長】 飼い主のいない猫対策を進めるために、助成対象の見直しと合わせて、登録猫ボランティアの経済的負担軽減につながる助成額の見直しを検討していく。

【質 問】地域のハブとしての地域センターの役割は大きくなっていく。人員増強を含め、機能強化について見解は。

【区 長】 地域のネットワークづくりとともに、相談業務の強化や業務範囲を拡大するなど、機能強化を図っている。今後地域に根ざした態勢を強化していく考えであり、仮に業務量が大きく増大した場合は、適切な人員を配置する。

夏のキャンプの参加費を上げる状況となっている。委託料の増額を求めるが、見解は。

【教育長】バス代などの高騰により事業経費が増加している状況を踏まえ、現在7年度の委託料を検討している。今後も、各地区の実施状況を丁寧把握し、必要な対策を検討していく。

【質 問】区民の安心・安全の観点から、今後の区立公園の樹木の管理体制を伺う。

【区 長】 区立公園について、区職員による点検を年2回、春と秋に実施している。今後、造園業者による樹木点検を実施するなど、適切な樹木管理を進めていく。

【質 問】 榛名林間学園の廃止やバス代などの高騰により、報共有を図っていく。

【質 問】 榛名林間学園の廃止やバス代などの高騰により、報共有を図っていく。

【質 問】 所得税の基礎控除額などが178万円に引き上げられた場合の区が影響を受ける見込額と区税に占める割合は。

【区 長】 特別区長会による特別区民税減収額の試算では、約138億円と算定されている。減収の見込額は、5年度特別区民税の決算額に対し3割に相当する額である。

【質 問】基礎控除額が引き上げられた場合、区政運営に影響が出ないよう減収分の代替財源を国に求めるべき。

【区 長】 特別区長会のもとより、全国市長会とも連携し、国の責務として適切な財源補



長瀬 達也

(自民党)



年収103万円の壁について問う

【質 問】所得税の基礎控除額などが178万円に引き上げられた場合の区が影響を受ける見込額と区税に占める割合は。

【区 長】 特別区長会による特別区民税減収額の試算では、約138億円と算定されている。減収の見込額は、5年度特別区民税の決算額に対し3割に相当する額である。

【質 問】基礎控除額が引き上げられた場合、区政運営に影響が出ないよう減収分の代替財源を国に求めるべき。

【区 長】 特別区長会のもとより、全国市長会とも連携し、国の責務として適切な財源補

【質 問】基礎控除額が引き上げられた場合、区政運営に影響が出ないよう減収分の代替財源を国に求めるべき。

【区 長】 特別区長会のもとより、全国市長会とも連携し、国の責務として適切な財源補

【質 問】基礎控除額が引き上げられた場合、区政運営に影響が出ないよう減収分の代替財源を国に求めるべき。



田中しゅんすけ

(自民党)



保健所の体制整備を問う

【質 問】保健所機能強化への対策を講じるべきである。人員体制や人材育成、業務の効率化など、取組状況を伺う。

【区 長】 感染症予防計画に、状況に応じた人員数の確保や人材育成などを記載し、準備を進めている。業務の効率化などは、検討の途上である。

【質 問】避難所開設・運営訓練を指定避難所単位で行うことを強く要望する。見解は。

【区 長】 7年2月に、都と合同で避難所開設・運営訓練を予定しており、本訓練をモ

士による無料相談会を実施している。さらにきめ細かな情報を提供するため、アドバイザリー派遣制度も早期導入に向けて検討していく。

【質 問】いじめ解消に向けての取組状況を伺う。

【教育長】 学校内に校内委員会を編成し、組織的に対応することを原則としており、被害児童・生徒の心のケアを図るとともに、加害児童・生徒に対して丁寧な指導を心掛けていく。

【質 問】LINEなどによるいじめは、ネットパトロールでは発見が難しい。ネットいじめを防止する啓発指導も重要と考えるが、取組状況は。

【教育長】 いじめ防止に関わる授業を実施しており、ネットいじめについても扱ってい



さかまき常行

(公明党)



地域経済活性化について問う

【質 問】いたばしPayを軸に、地域経済の好循環を生み出す施策を進めるべき。

【区 長】 引き続き行政ポイ

【質 問】設置に関する今後の方向性について、見解は。

【区 長】 障がい者福祉センターの機能の移転に併せ、福祉の拠点として区役所周辺での整備を検討していく。

【質 問】既に着工している板橋口地区では、安全対策を求める声が多くある。西口地区の着工を見据え、安全対策や道路保全、維持への対策を。

【区 長】 車両の走行ルートや誘導員の配置などの対策を両事業者間で調整するよう指導している。道路の維持保全も、組合の指導や早期の補修などにより対応していく。

※以上のほか、いたばし・ジュニア・アンバサダープログラムとマレーシアについて質問があった

かわまちづくり計画を問う

【質 問】河川空間のオープン化など、区が考える民間活用手法や整備コンテンツの検討内容について伺う。

【区 長】 河川法に基づく河川空間のオープン化の特例制度を活用し、民間事業者の活力を引き出し、アクティビティやカフェなどを取り入れ、

(7面に続く)